

一般質問事項一覧

9月9日（月）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 （第1日） ／9日 （月）	梅林（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	1 令和5年度決算の評価と第六次大野市総合計画に基づく今後の財政運営について ○ 令和5年度決算について、どのような評価をしているか。 ○ 第六次大野市総合計画の行財政では「大野市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の見直しと再編を進める」としている。そこで今回、3施設について質問する。 ・学びの里「めいりん」（生涯学習センター、大野公民館、大野市有終西小学校）複合施設内の室内プールの現状と今後について ・青少年教育センターの現状と今後について ・城下町東広場の現状と今後について ○ 公共下水道の加入状況と今後について
			2 女性が住み続けたいと思うまちづくり ○ 女性の問題となると、男女格差による雇用や性別役割分担、結婚・出産・子育て等が一義的に捉えられることが多く、国の対応策も都市中心であり、地方との温度差があるように感じる。地方公共団体においては多義的な視点から、既婚・未婚、年齢や就労の有無等にかかわらず、全ての女性が参加したいと思える政策や事業が必要だと考えるが所見を伺う。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／9日（月）	伊 東（市議会）	一括質問・答弁方式	1 認知症高齢者にやさしい地域づくりについて 本年1月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行された。この法律は、認知症の人を含めた全ての人が互いに人格と個性を尊重し、支え合いながら共生する活力ある社会（共生社会）の実現を目的としている。認知症についての関心と理解を深め、認知症の人が尊厳と希望を持って地域で暮らしていけるよう、次の3点にわたって質問する。 ○ 高齢化の進展とともに、認知症高齢者も増加傾向にあり、特に80歳以上では約2割の人が認知症を発症すると言われている。そこで、本市の認知症高齢者の推定人数と、今後の見込みについて伺う。また、認知症発症を予防する取り組みについて伺う。 ○ 認知症に関する正しい知識及び認知症の人に対する理解を深める施策について伺う。 ○ 本市では「認知症サポーター養成講座」を実施しているが、その目的や受講後の役割は何か。また、今までに受講した人数を伺う。
			2 災害時の避難所と環境整備について いつ、どこで起こるか分からない大規模災害。災害時の避難所環境整備は、何か起こってからでは間に合わない。想定できる課題に対し十分対応できるよう、平時から整備しておくことが重要と考える。 そこで、5点にわたって質問する。 ○ 避難所運用変更の方針が示されたが、変更概要は。また、市民に対しどのように周知するのか伺う。 ○ 現在、本市において民間の自主的な避難所はどのくらいあるのか。 ○ 災害時、道路の寸断によりガソリンや灯油の供給が止まり、さらに停電で電気が使えなくなることが課題となる。そのため、エネルギーの供給体制の強靱化を図る必要があると考える。そこで、災害時の避難所となる小・中学校の体育館に、空気調整設備にも活用できる災害対応型LPガスバルク設備の導入を提案するが、所見を伺う。 ○ 道の駅「越前おおの荒島の郷」は防災道の駅だが、大規模災害時は、どんな位置付けになるのか。また、こういった役割を果たすのか。 ○ 本市の福祉避難所について、具体的な受け入れ人数と想定している対象者を伺う。

令和6年9月 第440回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問（第1日）／9日（月）	帰山（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	1 旧蕨生小学校並びに旧荒島保育園の跡地活用について
			○ 旧蕨生小学校グラウンドにホテルが建設されると聞いているがその進捗（しんちよく）状況は。
			○ 旧蕨生小学校並びに旧荒島保育園は現在どのように管理されているのか。
			○ 両施設の今後の活用方法はどのように考えているのか。
			2 おおの森づくりプランについて
			○ おおの森づくりプランの主な目的は。
			○ 市民への周知方法は。 ○ 今後どのように進めるのか。

令和6年9月 第440回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問（第1日）／9日（月）	岸 本（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	1 大野市文化会館について ○ 本年8月20日に大野市文化会館の新設を求める会ほか連名で現在地又は駅東公園での大野市文化会館の新設を要望とした約8,000人分の署名を石山市長宛てに提出されたが、この署名について市としてはどのように捉えているのか伺う。 ○ 第4回あり方検討委員会で提案された結とぴあ多目的ホールを改修する案は、文化会館単独の施設として使用するのか伺う。 ○ 法定耐用年数が残り15年しかない結とぴあを考えると（1989年6月供用開始・35年経過）、概算事業費コスト面では確かに安価であるが、15年後には耐震補強など新たな費用発生が見込まれる。そう考えた場合、代替え案は適正とは判断できないと思うが市の見解を伺う。 ○ 耐震診断調査を実施して10年以上が経過しているが、過去と違い耐震補強技術が飛躍的に向上し、また耐震補強実績も多くあると思う。経費はかかるが公共施設等総合管理計画の長寿命化対策の対象施設と位置付け、今一度耐震診断調査の実施を提案する。市の考えを伺う。 ○ あり方検討委員会に提示した代替え案の中で、現在の文化会館跡地活用について議題として提示していないことと、議論に及んでいないのはなぜなのか伺う。 ○ 万が一、5回目のあり方検討委員会で代替え案は認められないと採択された場合、市としての対応について伺う。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／9日（月）	野村（無会派）	一括質問・答弁方式	1 人口減少対策 厚生労働省による社会保障・人口問題研究所調査によると、少子化は低賃金により所得が少ない、また、結婚と出産に関する意識調査によると、青年は結婚し、子どもを産み育てたいと思っているとのことである。 しかし、低賃金・低所得のために結婚資金が無い、住宅を確保できない、住宅費が高い、子育てにお金がかかる、教育費が高いなどの理由から、結婚できない、子どもを育てられないと考えているとの報告もある。 これらに起因する人口減少の解消に向けては、非正規から正規雇用への転換や最低賃金を1,500円に引き上げ、医療・介護・保育等のケア労働従事者の低賃金の改善、シングル世帯に対する出産・育児・子育て支援の充実を国に強く要望していくことが大切であるとする。 また、本市においては人口減少対策としてさまざまな施策に取り組んでいるが、より市民に寄り添った施策を充実していただきたいとの思いから、次の3点について伺う。 ○ 子育て世代への支援の充実として、保育料・給食費の無料化や奨学金の充実、学習塾費の支援が必要と考えるが、その見解は。 ○ 高齢者が安心して住み慣れた地域に生活し続けられる環境整備を行うとともに、医療、買い物支援、移動手段、高齢者施設等を充実させることが必要と考えるが、その見解は。 ○ 地域留学について、特色ある教育を行い、留学する子どもと家庭に対する支援の充実・住居の提供等を行い、移住促進につなげてはどうかと考えるが、その見解は。
			2 低所得者への暑さ対策を この夏の気温は全国的に平年を大きく上回り、1898年から統計を開始した日本の平均気温偏差は過去最高を記録している。 都市化の影響が小さく地域の偏りを考慮した15地点の観測値による、2024年の日本の夏の平均気温偏差は速報値でプラス1.76℃となった。これまでの記録を大幅に更新した昨年と並ぶ過去最高である。 年々気温が上昇している中、物価高でエアコンの買い替えや電気代の負担などで市民生活に影響が出ている。 特に所得の低い世帯には大打撃である。

令和6年9月 第440回大野市議会定例会

一般質問 (第1日)／9日(月)	野村(無会派)	一括質問・答弁方式	○ 生活保護世帯への猛暑対策と経済対策として「エアコン購入と設置の補助金を出すこと。壊れたエアコンの修理費及び買い替えも同様とすること」が必要であり、国に求めるとともに市として対策を講じるべきではないかと考えるが、市の見解は。 ○ 生活保護世帯では、電気代が高く使用を控える世帯もある。夏季手当の新設か、それに準じた電気料金の補助金を出すこと、物価高に相当する給付金を支給することが必要である。国に求めるとともに市として対策を講じるべきではないかと考えるが、市の見解は。 ○ 上記2点について、生活保護世帯だけでなく住民税非課税世帯等の低所得世帯にも支援が必要ではないかと考えるが、市の見解は。
---------------------	---------	-----------	---

一般質問事項一覧

9月10日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 （第2日） ／10日（火）	笹山（大野市民の会）	一括質問・答弁方式	1 星空保護区認定後の効果について 南六呂師エリアが星空保護区に認定されてから1年がたった。星空観望イベントやツアー、商品開発などさまざまな取り組みを実施されてきたが、次の点について質問する。 ○ 認定後1年間の経済効果はどの程度あったのか。 ○ スターランドさかだになどを含めた、南六呂師エリアへの観光入り込み客数は捉えているか。捉えているのであれば、その人数と1人当たりの消費額はどうか。 ○ ミルク工房やスターランドさかだになど、周辺施設への波及効果はあったか。入館者数なども含めて聞きたい。 ○ 2年目以降の目標数値や予定している新規事業はあるか。
			2 六呂師高原活性化構想について 六呂師高原活性化構想について、開発計画を基にエリアごとの工事が進んでいるように見受けられるが、次の点について質問する。 ○ 現在の進捗(しんちょく)状況はどうか。 ○ 地域おこし協力隊との連携などの動きはどうか。 ○ 地域住民との協力体制はどうか。 ○ 完成後の目標数値や得られる効果はどのように考えているか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／10日（火）	木戸屋（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	1 流域治水について 8月末から迷走した台風10号は、全国に影響を及ぼした。福井県では大きな災害はなかったが、全国各地で大雨による河川の氾濫で住宅などに大きな被害をもたらした。 本市においては、令和4年度・5年度と2年続けて、河川の越水による浸水被害を受けた。本市では、令和5年度より流域治水を強化している。大いに評価すべきことであると考え。国の流域治水の予算を活用しながら、本市でもここ数年、流域治水対策に大きな予算を付けてきている。当初予算では令和4年度に約2,000万円だったものが、令和5年度で約8,600万円、令和6年度では約1億2,000万円となっている。令和7年度も大規模工事を予定しているとのことである。 同様に、県も流域治水対策の事業を強化してきていると聞く。本市に関することと言えば、赤根川の改修が長年の懸案になっている。この事業が進めば、本市においても重要な洪水対策となる。 そこで、次の点について質問をする。 ○ 令和6年度、令和7年度の本市における流域治水事業は、どのような工事なのか。 ○ 平成12年度から止まっている赤根川改修工事について、最近の進捗(しんちょく)はどのような状況なのか。
			2 災害時の住民避難について 本市では、令和2年度に総合防災マップの改定が行われ、風水害の避難を中心にまとめられている。その作成時から約4年が経過し、国の規定や災害対策の状況などが変わり、本市における社会情勢も変わってきている。 令和6年度の当初予算には、防災行政無線整備に4億8,500万円の予算が付けられ整備される。また、避難所について一部を改定するということの説明があった。 そこで、次の点について質問をする。 ○ 新しい防災行政無線は、これまでの無線よりどのような点が改善されるのか。 ○ 避難所について、基本的な考え方は何か。具体的にどのような点を改善するのか。そのことを市民に周知する方法はどのようにするのか。

一般質問 (第2日) / 10日(火)	木戸屋(もえぎ会)	一括質問・ 答弁方式	3 夏季休業中の小学校におけるプール開放について この夏も昨年に引き続いて、2年連続で最も暑い夏になった。学校における暑さ対策についても、学校現場はさまざまな工夫を凝らし、児童・生徒の健康を守ろうと苦勞をされていることと推察される。 本年度から夏季休業中の小学校のプール開放についての新たな取り組みとして、スクールバスで送迎しながら、屋根のあるB&G海洋センターのプールを利用して実施されたということである。この取り組みは、教育委員会が中心になって動かなくは実現できない大きな改革であり、児童の暑さ対策として有効な取り組みであると考えている。 そこで、次の点について質問をする。 ○ 本年度この取り組みを実施した結果を受けて、その成果と今後に向けての課題は何か。 ○ この取り組みについての児童、保護者、教職員の評価はどのようなものか。
--------------------------------	------------------	-----------------------	---

令和6年9月 第440回大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質 問 概 要
一般質問 (第2日) ／10日 (火)	山崎(清風会)	一括質問・答弁方式	1 給食費無償化について
			○ 市長の提案理由説明でもあったが、昨今の原材料高騰・光熱水費の高騰・物価高騰の影響下の中、本市の学校給食費無償化を実施する意向はあるのか伺う。 ○ こども園等の副食費についても、どのような意向なのかを伺う。 ○ 実施するならば、予算規模はどれくらいになるのか伺う。
			2 本市の学校教育環境について
			○ 中学校が2校になった今、不登校・いじめ等の現況はどうか伺う。 ○ 教員の働き方改革によって、部活動内や放課後等の子どもたちの現状の把握をどのように行っているのか伺う。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／10日（火）	林（市政会）	一括質問・答弁方式	1 政策目的の明確化と財政改革について
			福井県が推計した令和6年7月1日現在の本市の人口は前月より53人減って28,960人となり、大野市過疎地域持続的発展計画の目標である令和7年定住人口29,000人を一年前倒しで割り込んだ。 くしくも中期財政見通し（案）が示された。今後の財源不足に対して基金の活用などにより収支均衡を図る予定としているが、持続可能な行政運営の基本は財政健全化と経済活性化のバランスの取れた予算配分であり、時代の変化に合わせて税金を投入している行事・会議・組織の棚卸しにより政策目的を明確化しつつ、合理的根拠（エビデンス）に基づく政策立案（EBPM）を絶えず行っていくことではないかと考える。 市民や事業者の将来への不安を取り除き、どのような未来が待っているのか明確に示す責任が政治にあることから、次の点を質問する。 ○ このタイミングで見通し（案）作成を指示した理由は何か。併せて、このような財政状況にいたった原因はどこにあると捉えているのか。 ○ 財政負担の軽減や公共施設再編を加速するため、借地の取得を早める予定はないのか。また、物件費（特に委託費）縮減に向けて、公共施設の再編以外の取り組み方針はどうか。 ○ 投資的経費を2割繰り延べすることが検討されているが、市内経済や市民生活への影響、施設の老朽化が進展して有形固定資産減価償却率が悪化することに対する懸念がある。また、地方債の借入期間を延長するとなると利払いの追加発生が生じることとなるが、関係部署間においてどのように協議されたのか。
			2 おおの天空パークOSORA運営とこどもの居場所について 令和7年1月開館に向けて工事、備品の整備が進む屋内型こどもの遊び場「おおの天空パークOSORA」。その運営とこどもの居場所について、次の点を質問する。 ○ 議案第64号において令和7年度からの3カ年の限度額70,902千円の債務負担が計上されているが、平日及び週末・休日における市内・市外の来場見通しと、指定管理料の基本となる項目ごとの収入・支出見込み額は。 ○ OSORAの指定管理者を株式会社ジャクエツとする議案第71号が上程されている。当該施設への誘客に向けて駐車場を運営する一般財団法人越前おおの観光ビューローとの連携は不可欠だが、駐車料金有料化など、駐車場の在り方の協議状況はどうか。また、トラブルが発生した際の市の担当窓口はどこになるのか。 ○ 長期休業中を含めたこどもの居場所づくりの一つとして、OSORAの活用予定は。学校改修が完了する下庄小、改修予定の富田小、有終南小児童の居場所づくりの方針と併せて確認する。